

指導用

帝国書院デジタル教科書

楽しく学ぶ

小学生の地図帳

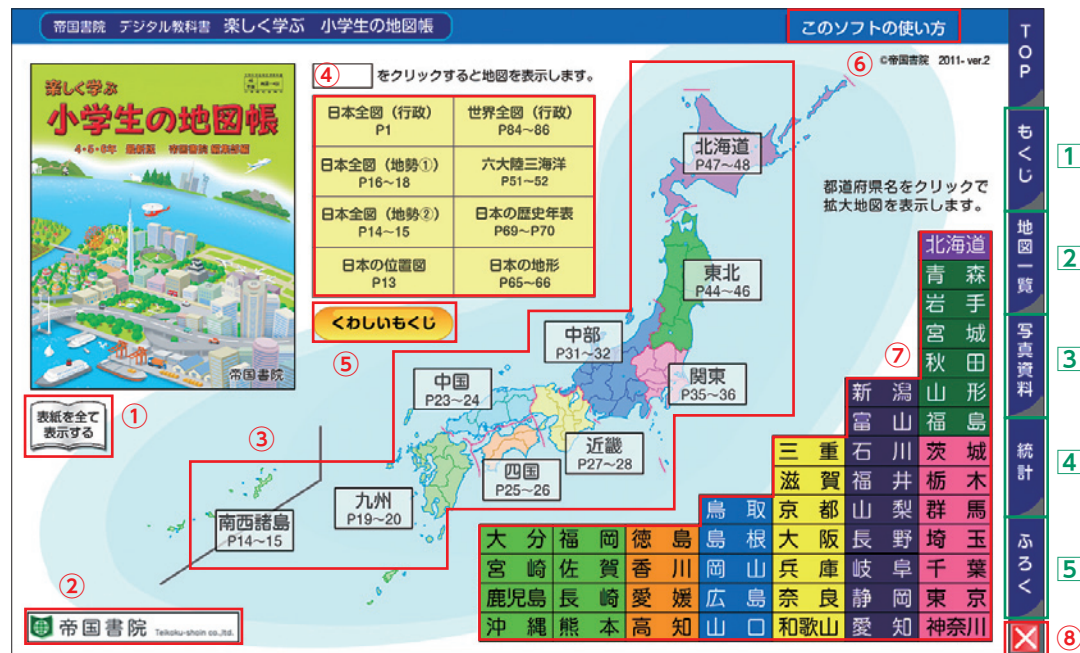
かんたん活用ガイド

- p.1～2 おもな機能
- p.3～4 活用実践例 4 学年、5 学年①
- p.5～6 活用実践例 5 学年②、6 学年
- p.7 HP サポートページ、価格、動作環境のご紹介

帝国書院

おもな機能

◆トップ画面



1～5 クリックすると、下の画面にリンクします。

- 1 表紙全体を表示します。
- 2 帝国書院のホームページや連絡先を表示します。
- 3 各地方の地図へのリンクです。地図帳の各地方の地図を表示します。
- 4 よく使われる地図へのリンクです。クリックすると、その図を表示します。
- 5 かわいいもくじを表示します。全てのコンテンツへのリンクがあります。
- 6 このソフトの使い方に関する解説にリンクします。
- 7 対象都道府県を拡大表示します。各地方の地図を拡大したものと同様です。
- 8 ソフトの終了ボタンです。

1 もくじ



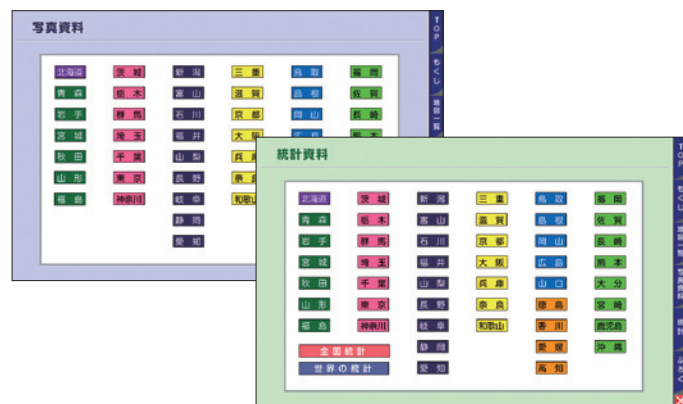
もくじから、表示したいページにリンクできます。

2 地図一覧



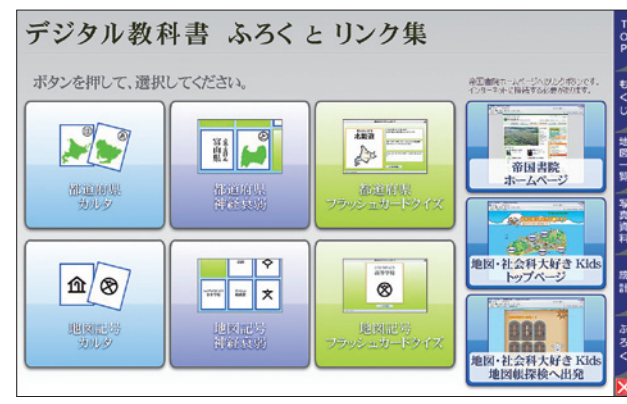
地図画像をクリックすると、そのページにリンクします。

3 写真資料、4 統計



47 都道府県の名称をクリックすると、表示したい都道府県の写真資料や統計資料にリンクします。

5 ふろく



都道府県学習用と地図記号学習用のクイズやカルタを収録しています。帝国書院ホームページにもリンク可能です（インターネットに接続した環境が必要です）。

◆地図画面



- 7 ページ送りボタン
現在表示中のページの前後的ページを表示できます。
- 8 地図上の都道府県名をクリックすると、各都道府県の統計資料を表示できます。
- 9 位置図
画面上に各ページのどの範囲を表示しているかを赤枠で示します。赤枠をドラッグすると表示範囲を移動できます。

◆統計資料画面



- 7 帝国書院のホームページを表示します。
- 8 見出しをクリックすると、表示される項目が変わります。
- 9 見出しをクリックすると、その項目の統計一覧表を表示します。統計は多い順や少ない順に並び替えることができます。
- 10 画面を閉じて、前の状態に戻ります。

※③・⑦は、インターネットに接続した環境が必要です。

- 1 地図を移動させたり、要素を選択します。
- 2 表示内容を拡大 (+)・縮小 (-) します。
- 3 表示内容を拡大前の状態に戻します。
- 4 地図と白地図とを、同じ図取りで表示切り替えができます。
- 5 ペンツールボタン
ペンまたは消しゴムを選択し、画面上の表示内容の上に書き込んだり、消したりできます。線種や色の変更も可能です。
- 6 画面右上に表示している位置図を表示/非表示にすることができます。

1 わたしたちの県と日本の学習(大阪府の例) ～さくいんのひき方とクイズの活用～ 【地図帳 p.1～3、8、27～30】

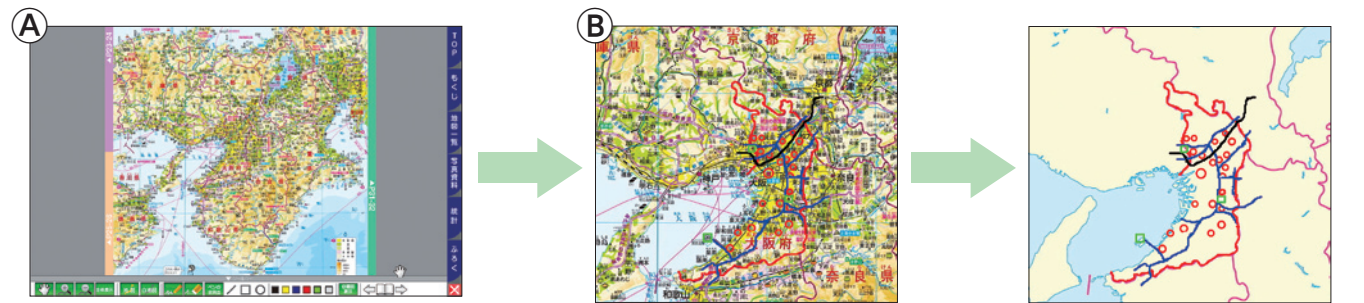
ねらい 日本における自分たちの都道府県の地理的位置や地形、産業、交通網を確認するとともに、さくいんを活用して県内の主要都市の場所を把握させる。47 都道府県の名称と位置についても定着させる。

活用のポイント

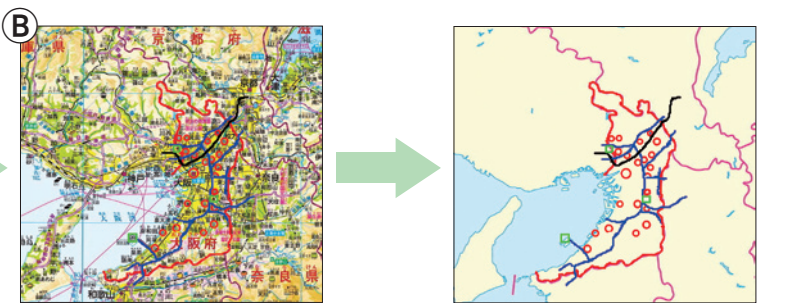
- ① 「**拡大機能**」、「**ペンツール**」、「**白地図機能**」で、県内の地形や産業、交通網を把握させる。
- ② 「**さくいん機能**」を用いて、さくいんの引き方を理解させた上で、県内の主要都市を把握させる。
- ③ 「**クイズ機能**」を用いて、47 都道府県の名称と位置について、楽しみながら身につけさせる。

＜授業展開の例＞

- (1) 児童に地図帳 p.1～3 を開かせて、日本の中における大阪府の地理的位置を確認させる。
- (2) デジタル教科書で p.27～28 「近畿地方」の地図を表示する(→図A)。
- (3) 大阪府のまわりに何県があるか、大阪を流れる川がどこから来るのかを確認させた後、「**拡大機能**」を活用し、大阪府の境が切れない範囲で拡大する。
- (4) 「**ペンツール**」を使って、県境を赤で、高速道路を青で、新幹線を黒で、それぞれなぞる。また、空港を緑で囲み、人口10万人以上の都市を赤丸で囲む。その後「**白地図機能**」を使って、都市と交通網の関係について考察させる(→図B)。
- (5) p.8の「さくいんをつかおう!」をクリックし、さくいんの引き方に関する動画を表示する(「**さくいん機能**」)(→図C)。
- (6) 動画で例として挙げられた柏原市の場所を、地図帳のさくいんと p.29～30 「大阪府とそのまわり」の図から確認させる。次に児童の1人に、大阪府内で知っている市町村名を1つ挙げさせ、全員で地図帳のさくいんを用いて、その市町村の地図上の位置を確認させる。いくつかの市町村で同様の作業を行い、さくいんの引き方と、大阪府内の主な市町村の名称と位置について定着させる。
- (7) 次に、デジタル教科書の「ふるく」にある「都道府県フラッシュカードクイズ」を開く。児童に発問しながらクイズを表示して、47 都道府県の名称と形を身につけさせるようにする。また随時、児童に地図帳 p.1～3 を開かせて、47 都道府県の位置を確認させる(→図D・E)。



表示したい部分を拡大することで児童の視線が集中し、児童の理解度をつかみやすくなる。



ペンツールを使って、地図上の要素をなぞることができる。

地図と白地図とを切り替えることで、地図上の分布がわかりやすくなる。



3つのヒントから都道府県名を当てるクイズ。動物のイラストで、児童が興味を持って学べる。

児童の反応と使ってみての感想

- ある児童は、紙の地図帳だけでは小さくて見つけられなかった、おばあちゃんが住んでいる市も、拡大してみんなに紹介できて満足な表情をしていた。また、さくいんの引き方を覚えたある児童は、大阪府内の多くの市町村をどんどん見つけていった。
- 都道府県フラッシュカードクイズを使うと、動物のイラストから都道府県の形を、ゲーム感覚で効率的に覚えることができた。また、都道府県フラッシュカードや大阪府の市町村フラッシュカードクイズを、自分たちで作りたいという声が出てきた。

1 米作りのさかんな地域の学習(山形県の例) ～県の拡大図と統計資料の活用～ 【地図帳 p.14～18、44～46】

ねらい 米作りがさかんな地域の特色について、地図や統計資料から考察させる。

活用のポイント

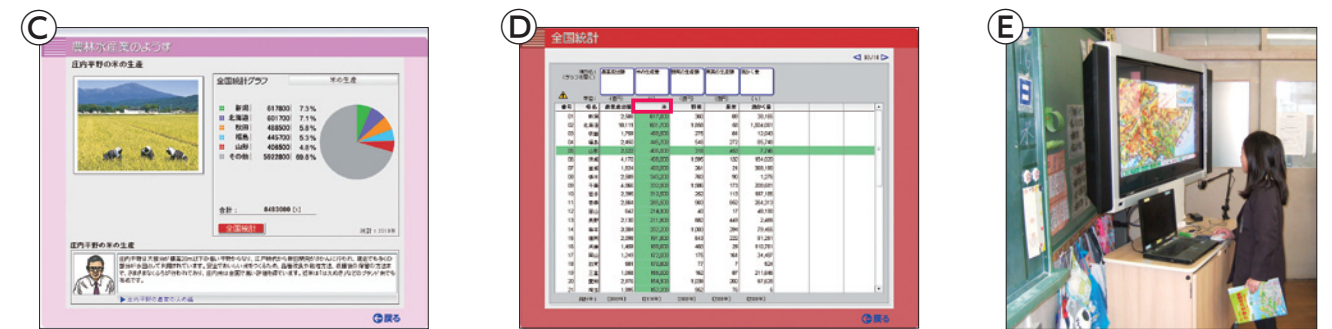
- ① 「**拡大機能**」、「**ペンツール**」、「**白地図機能**」を用いて、米作りがさかんな地域の地形的特色を把握させる。
- ② 「**統計機能**」から、米作りがさかんな地域の位置的特色を把握させる。

＜授業展開の例＞

- (1) 児童に地図帳 p.44～46 を開かせて、東北地方の「田」の分布を確認させる。
- (2) デジタル教科書を活用し、p.44～46 「東北地方」の地図を表示する。
 - ① 「**拡大機能**」を活用し、山形県の部分を拡大する。
 - ② 「**ペンツール**」を使って、山形県内の主な河川を青色でなぞり、田を緑色、主な都市を赤色で囲む(→図A)。
 - ③ 「**白地図機能**」を使い、白地図に切り替えて、それぞれの分布を確認させる(→図B)。山形県では、庄内平野を中心に、米作りがさかんなことを確認させる。また、田は河川に沿って分布していること、都市も河川に沿って発展していることに気づかせる。
- (3) 「**統計機能**」を使い、山形県の統計資料を表示する。特産品の米をクリックして、「庄内平野の米の生産」の写真と解説を確認させる(→図C)。
- (4) 「米の生産」の円グラフを見せて、日本の生産量上位の県と山形県の順位を確認させる(→図D)。その後、全国統計を示し、上位の県の特徴について考察させる(→図E)。米作りがさかんな地域はどのあたりにあるのかを、p.14～18の日本列島の地図を見ながら調べさせた上で、日本の北部に位置する県が多いことを児童に確認させる(→図E)。



地図を白地図に切り替えることができる。



統計資料の項目の見出しをクリックすると、多い順や少ない順に都道府県を並び替えることができる。

児童が電子黒板の画面上の地図を見て、確認している授業の様子

児童の反応と使ってみての感想

- ペンツールと白地図への切り替え機能を使うことで、紙の地図帳だけでは気づきにくいことも、児童に気づかせることができたので、効果的な学習ができた。
- 統計資料が充実しているため、米づくりのさかんな地域やさかんな地域ではない地域の両方の特色について、児童に考えさせることができた。

1 自動車工業の学習(愛知県の例) ～拡大図・資料図、統計資料の活用～ 【地図帳 p.33～34、68、71、75】

ねらい 日本を代表する工業として自動車工業を取り上げ、生産工場の分布、輸送のための交通網や輸出などの働きについて、地図や資料を活用して考察させる。

活用のポイント

- ① 「ペンツール」、「白地図機能」を用いて、生産がさかんな地域や輸送のルートなどを把握させる。
- ② 「拡大機能」を用いて資料図を大きく拡大し、資料から関連性を読み取るようにさせる。
- ③ 「統計資料」と「統計の並び替え機能」を用いて、自動車工業がさかんな都道府県と、輸出相手国を確認させる。

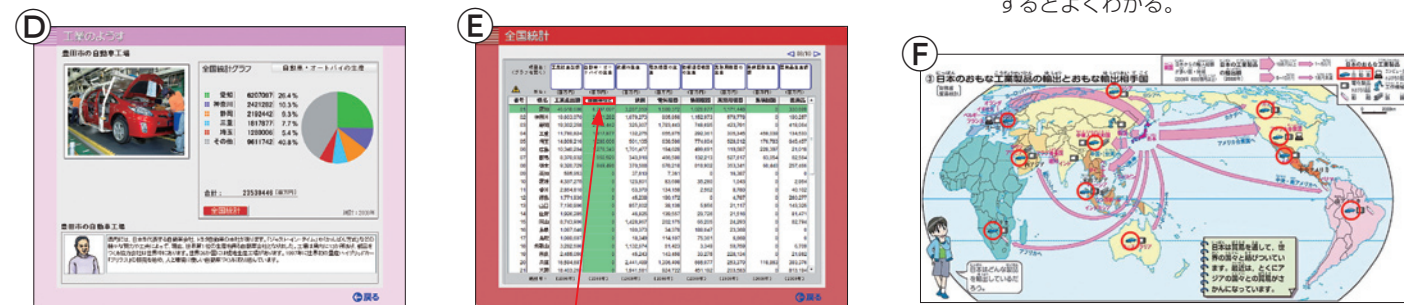
＜授業展開の例＞

- (1) デジタル教科書 p.33～34「愛知県とそのまわり」を表示する。愛知県の湾岸エリアを中心に、「ペンツール」を用いて地図上にある工業の絵記号に丸をする。その際、自動車の絵記号を赤い丸、自動車部品の絵記号を緑の丸で囲み、「自動車積み出し基地」を黒の四角で囲む。その後、主要な高速道路を青い線でなぞる(→図A)。
- (2) 「白地図機能」を用いて地図を白地図に切り替え、児童に発問し、白地図から気づいたことを述べさせる。自動車の絵記号の分布や、輸送ルートを確認させる(→図B)。
- (3) p.34「③自動車生産のようす」の資料図を、「拡大機能」を用いて拡大する。「ペンツール」を用いて、部品工場の絵記号を丸で、組立工場を四角で囲む。組立工場を中心として、部品工場が点在していることを捉えさせる(→図C)。
- (4) 愛知県の「統計資料」を開き、自動車工場の写真や解説を表示(→図D)してから、自動車生産額の全国統計グラフを確認させる。「統計の並び替え機能」を用いて、自動車生産額の多い順に並び替えた後、どの都道府県で多く生産されているか、また、生産量が多い理由を考察させる(→図E)。
- (5) p.68「③工業の分布」の資料図から、日本国内の自動車工業の分布を確認させる。その後、p.71「③日本のおもな工業製品の輸出とおもな輸出相手国」の資料図と、p.75「世界の国別統計」の「日本からの輸出」の項目を示し、日本の自動車が見世中に輸出されていることを確認させる(→図F)。



地図と白地図とをボタン一つで切り替え可能。ペンツールで書き消しもできる。白地図にすると、特色がつかみやすくなる。

資料図の部分拡大表示できる。紙の地図帳では気づきにくかった箇所も、拡大するとよくわかる。



豊田市の自動車工場の写真や、自動車工場の解説、生産量の円グラフなどが表示できる。

統計資料の項目の見出しをクリックすると、多い順や少ない順に都道府県を並び替えることができる。児童にゲーム感覚で、順位を考えさせることもできる。

p.71「③日本のおもな工業製品の輸出とおもな輸出相手国」の図。自動車の絵記号を赤丸で囲むと、世界中に輸出されているようすがよくわかる。

児童の反応と使ってみての感想

- ペンツールを使って地図上に書き込みをしてから白地図に切り替えると、要素が絞られたことにより、児童は色々気づくことができました。他の都道府県においても児童自身で同様の作業を行えるようになると、学習意欲が向上した。
- 統計の並び替え機能を使うと、自動車の生産額が多い都道府県がわかったことに加えて、自動車を生産している都道府県が限られていることにも気づかせることができました。また、自動車以外にも様々な項目で、応用が可能と感じた。

1 世界の中の日本の学習 ～世界の地図・統計資料の活用～ 【地図帳 p.53～64、71、75、84～86】

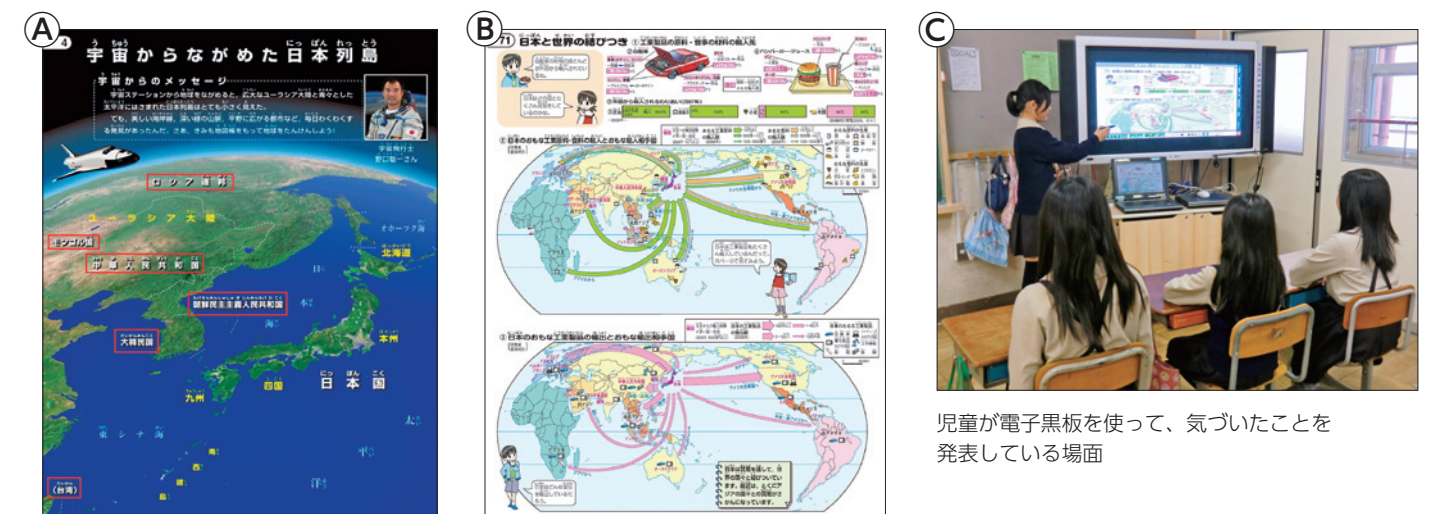
ねらい 日本と経済や文化などの面でつながりの深い国とその位置、人々の生活などについて把握させ、意欲と関心を持って調べさせる。

活用のポイント

- ① 「ペンツール」、「拡大機能」を用いて、日本と関係の深い国名や位置を地図で確認させる。
- ② 「統計資料」を用いて、児童が関心のある国を調べさせる。

＜授業展開の例＞

- (1) 児童に、日本と外国とは距離、貿易、文化、学術、流行など、さまざまな点でつながっていることを、まず確認させる。
- (2) デジタル教科書のp.4「宇宙からながめた日本列島」を表示して、「ペンツール」を用いて、国名や地域名を四角で囲み、日本と距離的に近い国や地域を探させる(→図A)。
- (3) p.71「日本と世界の結びつき」を「拡大機能」を用いて拡大し、日本と貿易に関してつながりの深い国々を捉えさせる(→図B・C)。
- (4) 児童に、家族の海外への渡航経験、興味のある国、行ってみたい国などを発問した後、p.53～64の世界のページ(p.55～56「アジア」など)や、p.84～86「世界の国々」から確認させる(→図D)。
- (5) 児童1人1人が調べたい国を1つ決めて、調べる計画を立てさせる。その際に、世界の「統計資料」を活用させる(→図E)。



児童が電子黒板を使って、気づいたことを発表している場面



国旗をクリックすると、その国の統計資料にリンクできる。

児童の反応と使ってみての感想

- デジタル教科書に収録している様々な資料(地図・資料図・統計資料など)を活用して説明すると、児童に世界の国についてイメージを持たせることができた。紙の地図帳には載っていない補足の資料も多く、調べ学習に色々活用ができたので、児童が興味を持って調べることができた。

■ 帝国書院ホームページ ユーザーサポート

<http://www.teikokushoin.co.jp/support/index.html>

- 帝国書院ホームページのトップ画面下にあるバナー（右の画像）をクリックすると、ユーザー向けのサポートページが開きます。



■ 価格

品番	商品名	本体価格（税別）
52840	帝国書院デジタル教科書 楽しく学ぶ 小学生の地図帳 [単品]	9,000 円
52841	帝国書院デジタル教科書 楽しく学ぶ 小学生の地図帳 校内フリーライセンス	40,000 円



「単品」は、1 台のパソコンのみの使用となります。

「校内フリーライセンス」は、同一の学校内に設置された全てのパソコンでの使用が可能です。

■ 動作環境

PC インストール版

OS Windows 2000 / Me / XP / Vista / 7 / 8 (※1)

CPU Intel CoreDuo 1.4GHz以上推奨

メモリ 128MB以上 (256MB 以上推奨)

ディスプレイ 1024×768ドット 以上の解像度

ディスク CD-ROMドライブ (インストール時に必要)

ハードディスクに 1.2GB 以上の空き容量

Web サーバー版

サーバー OS Linux, BSD, Windows Server など

※ 1 Windows 8 はデスクトップモードのみ動作します。

- Microsoft、Windows は米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標です。
- Core Duo は Intel 社の登録商標です。

■ ソフトウェアの使用条件

- 学校などの教育機関で、基本的に授業にのみ使用することができます。
- 本ソフトウェアおよび関連資料の複製、改変、譲渡、貸与、第三者への再使用許諾はできません。
- 本ソフトウェアの運用結果についてはいかなる責任も弊社は負いません。
- 本ソフトウェアの仕様は、改良等の目的にて予告なしに変更することがあります。

制作・発行・発売

 株式会社 帝国書院

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 3-29
TEL 03-3261-9038 / FAX 03-3234-7002
URL <http://www.teikokushoin.co.jp>

取扱店